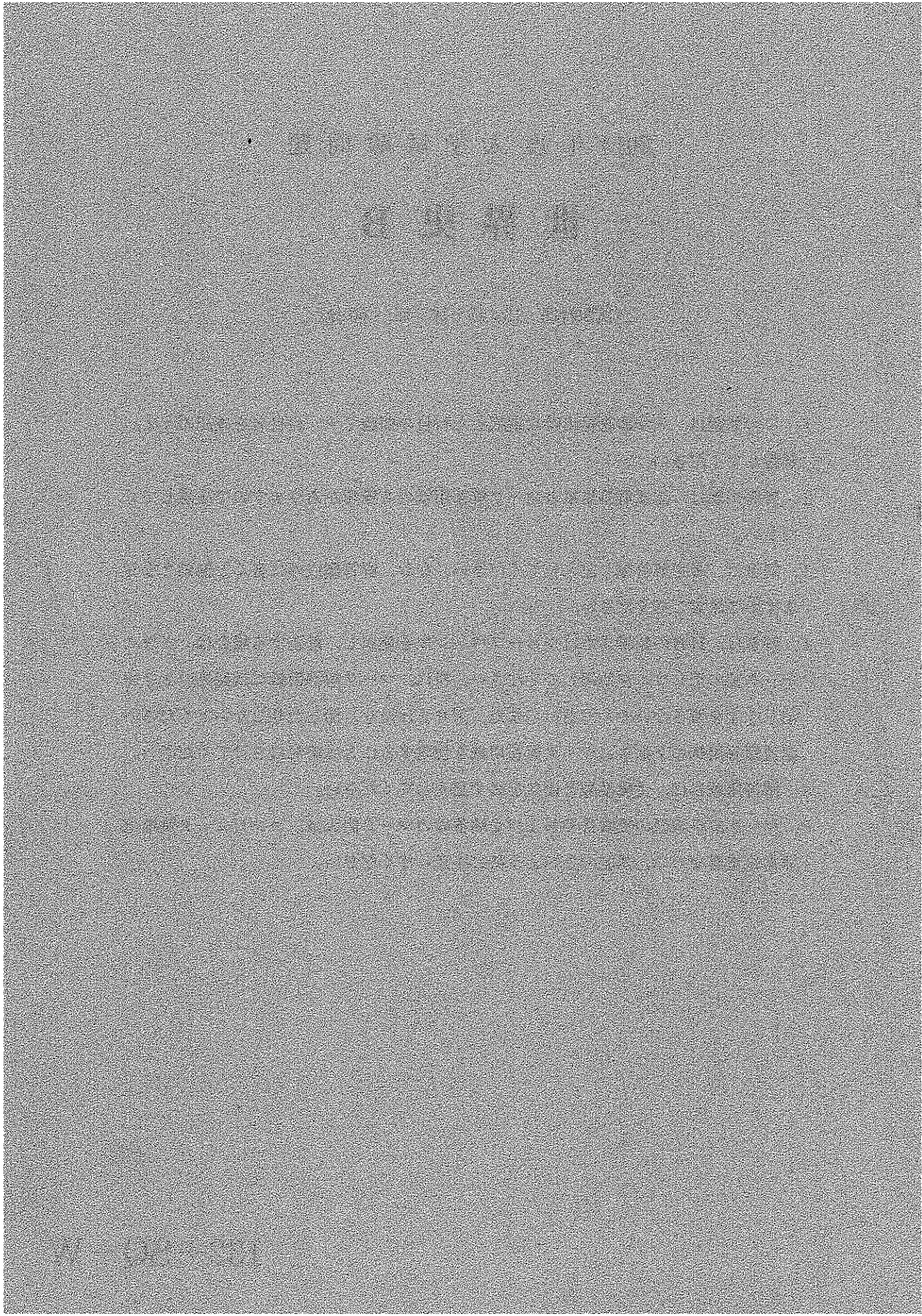


2014 年度 入学試験問題

世界史 B

(試験時間 13:15~14:15 60分)

1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。また、折りまげたり、汚したりしないでください。記述解答用紙の下敷きにマーク解答用紙を使用することは絶対にさけてください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。
6. マーク解答用紙の受験番号および受験番号のマーク記入は、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。



I 次の [1] と [2] の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(30点)

[1] 前5世紀の半ばころ、 [A] の指導のもとで完成されたアテネの民主政は、民主主義という考え方を世界ではじめてうみだした点で世界史的意義が大きいとされる。しかし政治に参加できた「市民」に、奴隷・メトイコイ（アテネ居住の外国人）・女性などは含まれていなかった。これに比べて古代オリエントでは、より幅の広い人々の政治参加がみられる。たとえば、ペルシアの古都スサで発見された古バビロニア王国の法である [B] では、第一身分の自由市民と第二身分の平民は老若男女、自国民と外国人の区分はなかった。しかし長い歴史の中で、ごく少数の特別な女性をのぞいて、一般女性の政治参加は多く制限されてきた。

産業革命後、工場制機械工業による大量生産が定着すると、賃金の安い女性が労働者として雇用されることが多くなる。しかし男女の賃金格差は大きく、女性の社会的地位は低いままであった。

19世紀後半になり、ようやくヨーロッパ社会を中心に女性たちの社会的・法律的地位の改善が本格化する。財産権の確立、離婚法の改正、^①妻の地位に関する法的保護、最低賃金と労働時間の改善など社会的地位に変化がみられる。また、男性と対等に初等教育から高等教育にいたるまで教育が普及し、しだいに種々の職業が開放され、芸術や学問などのさまざまな分野での女性の社会参加が広がった。^②さらに20世紀に入り、第一次世界大戦は、女性が社会進出するおきなきっかけとなった。総力戦体制のもと、労働力不足を補うために女性も軍需工場に動員され、男性の仕事を肩代わりするなど、国民としての役割を果たしていった。

こうしたなかで、女性解放運動や参政権運動も活発化していった。「最大多数の最大幸福」を主張したイギリスの功利主義哲学者の [C] はフェミニストでもあり、その著書『女性の隷属』が1869年に刊行されると、それはヨーロッパの女性解放運動のバイブルとなった。イギリスでは、1880年代にほぼ完全な男子普通選挙制が確立すると、女性参政権の要求がさらに強まる。20世紀に入り、パンクハースト夫人が組織した女性社会政治同盟などの過激な運動などを経て、イギリスで女性の参政権は1918年に30歳以上の女性に、1928年に男性と同様に完全な形で認められた。イギリスに限らず、1920年を前後して、ロシア、アメリカ、カナダなどの諸国家でも

女性の参政権が認められていった。しかし、18世紀に 憲法で男性普通選挙制を認めたフランスで女性の参政権が認められたのは、1944年のことであった。

【設問 I】 次の問1～4の答えを記述解答用紙に記入しなさい。

問1 ～ 内に入る最も適切な語句を記入しなさい。

問2 の説明文として（あ）と（い）に最も適切な語句を記入しなさい。

これは、（あ）法を継承して集大成したもので、全282条からなり、多分野にわたる規定を設けている。特に、「目には目を、歯には歯を」の（い）法の原則と、身分によってことなった刑罰を課す身分原理にたっているのが注目される。

問3 波線部ア)の時代のアテネで、女性を題材に社会風刺をする文学作品がいくつか出されているが、ペロポネソス戦争を批判した『女の平和』を記した喜劇作家は誰か。

問4 波線部イ)に関連して、19世紀後半からおこった自然主義運動では、ありのままの女性を描くことにより、当時女性を取り巻く困難な状況を伝える文学作品がいくつか出されている。特にこの時期、作品中の主人公「ノラ」を通じて、女性解放運動への展望を描いたとされるノルウェーの作家の戯曲は何か。

【設問Ⅱ】 下線部①と②に関する以下の問の答えをマーク解答用紙にマークしなさい。

問1 下線部①に関連して、19世紀前半までの女性たちの社会的・法的地位に関して、次の(a)～(d)の記述中、誤りがあるものを1つ選びなさい。

- (a) 女性が除外されたフランスの「人権宣言（人間および市民の権利の宣言）」に対して、女優のオランプ＝ド＝グージュは「女性と女性市民の権利の宣言」を書き、男性と同等の政治参加の権利を求めて処刑された。
- (b) ヴィクトリア時代のイギリスで、性別役割分担が定着していった。それは、男性と違って女性は政治などにかかわる公的な場面ではなく、家庭と子どもを守ることなど、私的な生活にその役割があるとするものであった。
- (c) フランス革命では、女性たちがベルサイユに行進するなど革命に参加し、社会の変革の一翼を担った。
- (d) 『ヴァイマル（ワイマール）憲法』で「夫は妻を保護する義務があり、妻は夫に従わなければならない」と、女性は法律上、未成年と同様に保護の対象とされた。

問2 下線部②に関連して、次の(a)～(d)の記述中、誤りがあるものを1つ選びなさい。

- (a) 『アンクル＝トムの小屋』を書いたストウ夫人は、作品中黒人奴隷の惨状を描き、奴隷解放運動に貢献した。
- (b) マリー＝キュリーは夫ピエール＝キュリーと協力してラジウムとポロニウムを発見し、夫妻でノーベル物理学賞を受賞した。マリーは夫の死後も研究を続けノーベル化学賞も受賞した。
- (c) イギリスの看護婦ナイティンゲールは、イタリア統一戦争の報道に接し、野戦病院に赴き、傷病兵の看護に活躍した。彼女の功績を基礎に、ゴードンは、戦争犠牲者の救援を目指す国際赤十字同盟を設立した。
- (d) ベルによる電話機の発明は、女性に電話交換手という新たな事務職の雇用機会を提供した。

- 2 世界史教科書の中国史における女性の登場は、日本史や西洋史に比べて非常に少ない。その少ない中での登場人物は、則天武后・西太后・江青など、ほとんど「悪女」とイメージされる女性たちばかりである。中国史上、政権を握った女性に対して、ことごとく「悪女」のレッテルを貼る背景には、「雌鶏が時を告げる」＝女性が政治に口を出すのはよくない、という伝統的な儒教的観念がある。つまり、則天武后や西太后が政権を握ったこと自体が、男女の「内外の分」を超えたこととして長い間否定的に評価されてきた。だが、女性が政権を握るというイレギュラーな形態ながらも、則天武后が15年、西太后が47年もの長期にわたって政権を維持しえたことに対して、^①正当な評価を下そうという再評価も出てきている。^②

(小浜正子著「中国史教育とジェンダー」(長野ひさ子/姫岡とし子編『歴史教育とジェンダー』青弓社ライブラリー67, 2011年発行)を一部改変した。)

【設問Ⅲ】 波線部の3人に関する以下の問の答えを記述解答用紙に記入しなさい。

- 問1 則天武后が皇帝を称して、改めた国号は何というか。
- 問2 西太后が実権を握った当初、表面的に内政・外交の安定期であったと言われる。この時期を何というか。
- 問3 江青が四人組の一人として権力を握って推進した権力闘争を何というか。

【設問Ⅳ】 下線部①と②に関する以下の問の答えをマーク解答用紙にマークしなさい。

- 問1 下線部①に関連して、次の(a)～(d)の記述中、則天武后の**とった政策でないものを1つ**選びなさい。
- (a) 酷吏と呼ばれる秘密警察官僚を駆使して、反対派勢力を弾圧した。これにより建国の功臣や有力な貴族官僚を除去した。
- (b) 科挙を重視して、才能ある者を積極的に登用した。
- (c) 府兵制を撤廃して、職業兵士を雇用する募兵制に移行した。
- (d) 州ごとに大雲寺を設置したが、これは日本の国分寺制度の模範となった。

問2 下線部②に関連して、次の(a)~(d)の中で、西太后が実権を握っていた時期に起きた出来事でないものを1つ選びなさい。

- (a) 漢人官僚が郷里で組織した義勇軍は、多国籍軍の常勝軍の協力のもとで、太平軍を破って、太平天国を滅亡させた。
- (b) アヘン戦争でイギリスに敗れた清朝は、欧米列強と数々の不平等条約を結び、開国をよぎなくされた。
- (c) 清朝保守排外派は、「扶清滅洋」のスローガンを唱えて北京入りした義和団を支援して、帝国主義列強に対して宣戦を布告したが、すぐに8カ国共同出兵により北京は占領された。
- (d) 光緒帝は、日本の明治維新を模範とし、議会政治を基礎とする立憲君主制を目指す変法派を登用して、政治改革を進めるが、わずか3ヶ月あまりで、保守派の攻勢により失敗する。

II 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(33点)

絶対王政下のヨーロッパ諸国家は、ヨーロッパで領土拡大をめぐる対立すると同時に、アメリカ大陸やアジアでの植民地獲得をめぐる争った。17世紀中ごろ、世界商業の覇権を握ったオランダは、アメリカ東海岸に植民地を建設した。しかし、イギリスはオランダを中継貿易から排除するため、貿易における商品輸送をイギリス船と相手国の船に限定した 法(条令)を1651年に制定した。オランダは、 法(条令)が原因となって勃発したイギリス=オランダ戦争(英蘭戦争)に敗れたことから、イギリスに海上覇権を奪われた。そして、アメリカ大陸におけるオランダ領のほとんどはイギリス領となった。

フランスは、17世紀初めから北アメリカに進出した。イギリスも北アメリカに植民地を建設し、イギリス本国で迫害されていた^①ピューリタンや毛織物工業の失業者などが移民した。^②18世紀、イギリスとフランスは、植民地の支配権をめぐる北アメリカにおいても激しく争った。スペイン継承戦争に際して、北アメリカではアン女王戦争がおこった。その後、ユトレヒト条約により、フランスは、北アメリカ植民地の一部をイギリスへ譲渡した。

次いで、オーストリア継承戦争が北アメリカに波及し、ジョージ王戦争が勃発した。さらに、七年戦争の一環として北アメリカでは、1755年、 戦争が勃発し、イギリスが圧勝した。イギリスとフランス・スペインとの間で締結された条約により、フランスは北アメリカ大陸での植民地を失い、一方、イギリスは、西インド諸島とアメリカ大陸の13植民地を中心に広大な帝国を完成した。植民地抗争では、最終的にイギリスが覇権を握った。

戦争以降、13植民地に対するイギリス本国の方針が変化した。イギリスは、たとえば 法(条令)の制定など重商主義政策をとってきた。しかし、植民地をフランスやインディアン(北米大陸の先住民)の攻撃から守るため、植民地の自衛力を高める必要があったことから、イギリスはその政策を厳格には適用してこなかった。しかし、 戦争で圧勝しフランス勢力を排除できたため、植民地に対する統制を強化するようになった。

イギリス本国と13植民地は、課税問題をめぐって対立した。「代表なければ課税な

^③

し」は、植民地側の主張をよく表現している。1773年、茶法に反対する急進派が、東インド会社の積荷を海中に投棄した [C] 事件を契機に④対立は頂点に達し、アメリカ独立戦争が始まった。植民地軍は劣勢であったものの、反英的なヨーロッパ諸国は植民地側を支持した。七年戦争での敗北以来、イギリスへの報復を狙っていたフランスは、アメリカ独立を承認しイギリスに宣戦した。次いで、北アメリカにおける植民地の回復を狙っていたスペインも、イギリスに宣戦した。さらに、イギリスの海上封鎖に対抗して、ロシアの提唱により1780年、[D] 同盟が結成され、スウェーデン、デンマーク、プロイセン、ポルトガルが参加した。イギリスを国際的に孤立させることにより、アメリカ独立を援助した。1783年、イギリスとアメリカ合衆国との間で結ばれた [E] 条約により、アメリカ合衆国の完全独立が承認されると共に、アメリカ合衆国はイギリスから [あ] を獲得した。また、イギリスとフランス・スペインとの間で結ばれたヴェルサイユ条約により、イギリスはフランス・スペインに植民地の一部を譲渡した。フランスは植民地の一部を奪取できたものの、戦争により財政難に陥った。これは、フランス革命の一因となった。

フランス革命後、ナポレオンが登場した。イギリスがナポレオンとの戦争に突入したとき、アメリカ合衆国は中立を守ることで貿易上の利益を得た。しかし、イギリスが海上封鎖によりアメリカ合衆国の通商を妨害したため、アメリカ=イギリス戦争 (米英戦争) が勃発した。⑤

ナポレオンの登場により、アメリカ合衆国は領土拡大の機会を得た。ナポレオンは、ハイチ独立運動鎮圧のための戦費を調達するため、1803年、アメリカ合衆国に [い] を売却した。これは、アメリカ合衆国が西部に進出する基礎となった。さらに、アメリカ合衆国は、アメリカ=イギリス戦争後にイギリスからレッド川盆地を獲得し、スペインから1819年に [う] を買収した。

[い] の購入以降、アメリカ人はメキシコとの国境を無視して [え] に入植するようになった。この入植を排除しようとするメキシコ軍と衝突した事件がアラモ^{トリ}岩の戦いである。当地のアメリカ系住民はメキシコからの独立を宣言し、ほどなくアメリカ合衆国はこれを併合し自国領とした。アメリカ合衆国はさらなる領土獲得を望み、アメリカ=メキシコ戦争 (米墨戦争、^{べいぼく}メキシコ戦争) においてメキシコと戦った。勝利したアメリカ合衆国は1848年に [お] などを獲得した。

これらの領土膨張は、により正当化された。これは、アメリカ大陸に対してアメリカ人の文化や制度を与え、その土地をアメリカ合衆国が併合することは神からの使命であるとする考え方を示した言葉である。は、インディアンの迫害も正当化した。西部農民などの支持を得て1829年に就任した西部出身の大統領^⑥は、社会の平等化と民主主義の進展に貢献した一方、インディアンを迫害した。たとえば、1830年に法を制定し、インディアンを荒れた保留地へ追放した。

西部開拓は、産業資本や民主主義の進展を促した一方、南部と北部の対立も激化させた。開拓によって新たに生まれた州を、自由州とするか奴隷州とするかで争った。南部と北部は対立を徐々に深め、やがて南北戦争へと至った。北部は南北戦争において西部の支持を得るため、1862年に法を制定し、公有地に5年間定住し耕作した者に土地160エーカーを無償で与えるとした。これにより、西部開拓はさらに進展した。そして、フロンティアは19世紀終わりに消滅した。

【設問Ⅰ】 前の文章の～内に入る最も適切な語句を記述解答用紙に記入しなさい。

【設問Ⅱ】 ～の組み合わせとして最も適切なものを1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

a. あ：ミシシッピ川以東のルイジアナ

い：ミシシッピ川以西のルイジアナ

う：テキサス

え：カリフォルニア

お：オレゴン

b. あ：ハドソン湾地方、アカディア、ニューファンドランド

い：ミシシッピ川以西のルイジアナ

う：テキサス

え：カリフォルニア

お：オレゴン

- c. あ：ハドソン湾地方，アカディア，ニューファンドランド
い：ミシシッピ川以東のルイジアナ
う：テキサス
え：カリフォルニア
お：オレゴン
- d. あ：ミシシッピ川以東のルイジアナ
い：ミシシッピ川以西のルイジアナ
う：フロリダ
え：テキサス
お：カリフォルニア
- e. あ：ハドソン湾地方，アカディア，ニューファンドランド
い：ミシシッピ川以西のルイジアナ
う：フロリダ
え：テキサス
お：カリフォルニア
- f. あ：ハドソン湾地方，アカディア，ニューファンドランド
い：ミシシッピ川以東のルイジアナ
う：フロリダ
え：テキサス
お：カリフォルニア

【設問Ⅲ】

問1 下線部①に関する以下の記述について、正しいものにはRを、誤っているものにはWをマーク解答用紙にマークしなさい。

- a. 16世紀末、イギリス人ローリが、アメリカ大陸最初のイギリス植民地を建設し、処女王エリザベス1世にちなんでヴァージニアと命名した。しかしながら、植民地建設に失敗した。
- b. 17世紀初め、ヴァージニアのジェームズタウンに植民地が建設され、タバコ栽培で発展した。

問2 下線部②に関する以下の記述について、正しいものにはRを、誤っているものにはWをマーク解答用紙にマークしなさい。

- a. 17世紀、信仰の自由を求めてステュアート朝絶対王政下の抑圧を逃れてきたピルグリム=ファーザーズによって、プリマス植民地が建設された。彼らは、メイフラワー契約により、自ら政府を組織し、法律を制定し、それらを尊重することを誓った。後に、ピルグリム=ファーザーズは、「信仰深きアメリカ人の始祖」として神話化された。
- b. ピューリタンによって持ち込まれたピューリタニズム（清教主義）、信仰の自由、民主主義などは、アメリカ合衆国の精神的風土のなかに発展的に受け継がれてきた。ピューリタニズムは、真面目で勤勉な気風を育てた一方、宗教的な不寛容をもたらした。後に、マサチューセッツで魔女狩りが行われたのは、厳格なピューリタニズムと無関係ではない。

問3 下線部③は、ある法律に反対した植民地側の論理を示す言葉である。この法律として最も適切なものを1つ選びマーク解答用紙にマークしなさい。

- a. 保護関税法
- b. 印紙法
- c. 均輸法
- d. 募役法
- e. 保馬法
- f. 両税法

問4 下線部④に関する以下の記述について、正しいものにはRを、誤っているものにはWをマーク解答用紙にマークしなさい。

- a. アメリカ独立宣言は、ホップズの『リヴァイアサン』を基盤に基本的人権を主張した。
- b. アメリカ独立宣言において、インディアンは敵視され、黒人奴隷については言及されていなかった。奴隷解放は南北戦争まで待たなければならなかった。さらに、インディアンは南北戦争後も白人と平等の権利は認められず、ジェノサイドの対象にすらされた。

問5 下線部⑤に関する以下の記述について、正しいものにはRを、誤っているものにはWをマーク解答用紙にマークしなさい。

- a. 戦時中、イギリスとの貿易が絶えることにより、アメリカ合衆国の経済的自立が進んだ。このため、18世紀の政治的独立に続く、第2次独立戦争とも呼ばれる。
- b. 戦争によりアメリカ合衆国の外交的地位は失墜した。それを回復するために、後にモンロー主義を展開した。モンロー主義は、ラテンアメリカ諸国の独立に対するヨーロッパ諸国の干渉を排除する一方、アメリカ合衆国の西半球での勢力拡大を正当化するためにも利用された。

問6 下線部⑥の大統領として、最も適切なものを1つ選びマーク解答用紙にマークしなさい。

- a. ジェファソン (ジェファーソン)
- b. ジャクソン
- c. セオドア・ローズヴェルト (ルーズヴェルト)
- d. リンカン
- e. グラント
- f. ピアース

問7 下線部⑦に関する以下の記述について、正しいものにはRを、誤っているものにはWをマーク解答用紙にマークしなさい。

- a. 植民地当時、イギリスにとって、^{かんきん}換金作物を産出する南部が重要な地域であった。そこでは、黒人奴隷の労働力に依存しながら大規模生産がなされた。一方、北部は換金作物に恵まれなかったため、イギリスからの干渉が少なく、ヨーマン的な自立的農民の自由な労働による生産が行われた。
- b. 南部はイギリスへ原料を輸出し工業製品を輸入していたため、自由貿易を主張し、連邦主義（中央集権主義）を支持した。一方、北部は産業育成のため、優秀なイギリス製品を排除する保護主義を主張し、反連邦主義（州権主義）を支持した。

III 次の年表はアフリカの諸地域を植民地・保護国・直轄領などとしたヨーロッパの列強とそれぞれの国・地域にまつわる出来事を時系列にまとめたものである。年表を見て、下記の設問に答えなさい。(37点)

	イギリス	フランス	<u>A</u>	イタリア
1830年代		<u>B</u> 攻略・遠征 (1830)		
<中略>				
1880年代		チュニジアを保護国にする	南西アフリカを領有する (1884)	エリトリアを獲得する
1890年代	<u>D</u> 事件 (1898)			<u>C</u> に侵入する (1895~1896)
1900年代	アシャンティ王国を保護領にする			
	英仏協商			
	アルヘシラス会議 (1906)			
1910年代		<u>E</u> 事件 (1911)		<u>F</u> 戦争 (1911~1912)
<中略>				
<u>1950年代</u> (1)	ガーナが連邦内の自治領として独立する			
<u>1960年代</u> (2)	<u>G</u> が連邦共和国となる (1963)	アルジェリアが独立する		

【設問Ⅰ】 下線部(1)について以下の問の答えを記述解答用紙に記入しなさい。

問1 1955年4月、アジアとアフリカの首脳が史上初の会議を行ったインドネシアの都市は何と言うか。

問2 上の会議で発表された「平和十原則」はこれに先立つ「平和五原則」をさらに発展させた内容を持つ。この「平和五原則」について述べた以下の文で、(あ)～(う)内に入る最も適切な語句を答えなさい。

「平和五原則」は1954年6月の「(あ)会談」で合意された原則で、「領土主権の相互尊重」、「相互不可侵」、「(い)」,「互恵平等」、「(う)」の五項目を内容としている。

【設問Ⅱ】 下線部(2)について以下の問の答えを記述解答用紙に記入しなさい。

問1 1960年は「アフリカの年」と呼ばれ、アフリカでは17の新興独立国がうまれた。同年6月に独立したコンゴについて述べた以下の文で、(え)～(か)内に入るもっとも適切な語句を答えなさい。

コンゴは1960年6月に(え)から独立したものの、コンゴ全土で反白人暴動が発生したため、(え)の軍隊がこれに介入した。(え)は鉱物資源の豊かな(お)州を分離独立させ、その支配をねらった。この動乱のさなか、コンゴの独立の指導者であり、コンゴ共和国の初代首相でもあった(か)は1961年に反対派にとらえられ、殺害された。

問2 1963年5月、アフリカ諸国の首脳が参加し、アフリカ統一機構憲章に調印した会議は何と言うか。

【設問Ⅲ】 上記年表のA～Gについて述べた問の答えをマーク解答用紙にマークしなさい。

問1 列強国Aに関する以下の文のうち、正しいものにはR，誤っているものにはWをマークしなさい。

- a. 列強国Aはオランダなどとアフリカ南東の島マダガスカルへの進出を争ったが、19世紀末、ベルリン会議で正式にマダガスカルの領有を宣言し、これが認められた。
- b. 列強国Aの領地のひとつである東アフリカで、20世紀の初頭、ダイヤモンド発掘のための強制労働への反対から蜂起が起きた。
- c. 列強国Aのヴィルヘルム2世はフランスのモロッコ進出に抗議し、モロッコのタンジールに上陸し、列国会議を要求した。アルヘシラス会議では、列強国Aの要求は退けられた。

問2 アフリカの地域Bに関する以下の文のうち、正しいものにはR，誤っているものにはWをマークしなさい。

- a. 厳しい制限選挙制をとる立憲君主政のもと、シャルル10世は貴族や聖職者を重んじる反動的な政策をおこない、国民の不満をそらすため、Bへの遠征をおこなった。
- b. 自由主義的な貴族として知られ、七月革命で即位したオルレアン家のルイ=フィリップはBを直轄領とした。
- c. プロイセン=フランス戦争（普仏戦争）を境に、Bでは入植者であるブール人が激増し、彼らは先住のベルベル人を圧迫、支配するようになった。

問3 アフリカの地域Cに関する以下の文のうち、正しいものにはR、誤っているものにはWをマークしなさい。

- a. イタリアはCに侵入したが、フランスから武器を提供されたCがゲリラ戦で完勝した。
- b. メネリク2世はCを再統一し、近代化政策を推進した。
- c. Cの別名はアビシニアであり、以前から西欧列強の勢力によって干渉や侵入があったが、独立を維持した。

問4 D事件に関する以下の文のうち、正しいものにはR、誤っているものにはWをマークしなさい。

- a. D事件はアフリカ横断政策をとるフランスの軍隊とアフリカ縦断政策をとるイギリスの軍隊がスーダンで衝突・対立した事件である。
- b. D事件では、イギリス政府が譲歩し、スーダンはフランス・エジプトの支配下に置かれることになった。
- c. D事件の平和的解決を機に締結された英仏協商では、エジプトにおけるフランスの支配的地位と、モロッコにおけるイギリスの支配的地位を認め合い、列強国Aに対抗した。

問5 E事件に関する以下の文のうち、正しいものにはR、誤っているものにはWをマークしなさい。

- a. E事件はフランスが自らの植民地で起きた先住民の抵抗を鎮圧するため出兵した際、列強国Aの軍艦が突然同地の西南部の港に入港したため、フランス軍と対立した事件である。
- b. E事件でフランスを支持したのはイギリスだった。
- c. E事件の後、列強国Aにはフランス領コンゴの一部が与えられた。

問6 F戦争に関する以下の文のうち、正しいものにはR、誤っているものにはWをマークしなさい。

- a. F戦争はイタリアがトルコ領のいくつかの諸地域の領有を図った侵略戦争で、第一次バルカン戦争を誘発させた。
- b. F戦争の後、イタリアが支配権を放棄したトリポリとキレナイカの両地を「未回収のイタリア」という。
- c. F戦争の後、トリポリとキレナイカは、リビアと改称された。

問7 アフリカの地域Gに関する以下の文のうち、正しいものにはR、誤っているものにはWをマークしなさい。

- a. Gはイギリス連邦内で独立し、その数年後、連邦共和国に移行した。大統領にはアジキエが就任した。
- b. Gの最初の政党NNPPはラゴスで結成された。非エリート主義を強みに、次第に民衆の支持を得て、1930年代後半には選挙で圧勝した。
- c. Gの東部の州に居住するイボ族が20世紀中ごろ「ビアフラ共和国」として分離・独立宣言を出したことから、内戦に突入した。部族対立と宗教対立から内戦は拡大したが、結局、ソ連とイギリスが政府軍側を援助したため、ビアフラ軍が壊滅し、紛争は終結した。

